

セレコックス®錠を服用されている患者さんご家族の方へ

セレコックス®錠を 安全に服用していただくために



セレコックス®錠を服用する前に、まず確認しておき

セレコックス®錠は下の写真のお薬です。

以下の写真と見比べ、セレコックス®錠であることをご確認ください。

もし錠剤の形やシートの表示などが異なるようでしたら、決して服用せず、主治医または薬剤師にご連絡ください。

	セレコックス®錠 100mg	セレコックス®錠 200mg
1錠中の有効成分の量	100mg	200mg
形状	白色の丸い錠剤	白色のだ円形の錠剤
製剤写真	おもて面 うら面 	おもて面 うら面 
ピーティービー PTPシート	おもて面  うら面	おもて面  うら面
錠剤またはシート上の記号 (識別コード)	VT214	VT215

ましょう。

体の様子はどうか？

はじめてセレコックス®錠を服用される方は、以下のチェックシートで、ご自分の体の様子を確認しましょう。ひとつでも当てはまる項目があれば、必ず主治医にお伝えください。



●チェックシート●

（当てはまるものに ☒ をご記入ください）

- ☐ 以前にお薬を飲んで、
発疹や喘息症状が出たことがある
- ☐ 胃潰瘍などの胃腸の病気がある
- ☐ 心臓、肝臓または腎臓の病気がある
- ☐ 以前に心臓のバイパス手術などを受けたことがある
- ☐ 現在、妊娠中または授乳中である
- ☐ 現在、他のお薬を飲んでいる（市販薬も含みます）
何のお薬ですか？

お薬の名前は何か？

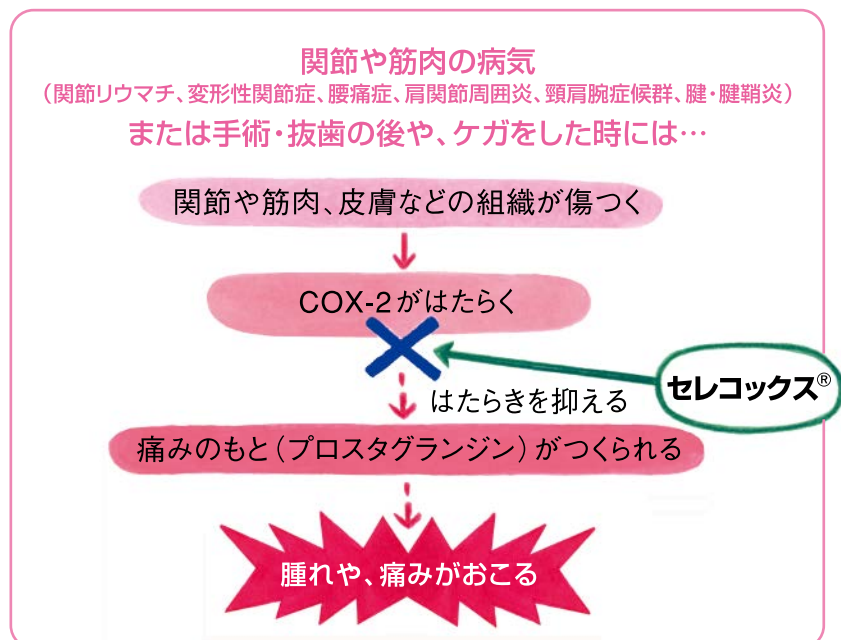
※名前がわからないときは、お薬を薬剤師にお見せください。

今回処方された セレコックス[®]錠は、
腫れや痛みを抑える薬です。

セレコックス[®]錠は、
関節や筋肉などの腫れや痛みを抑えて、
日常生活を過ごしやすいします。

腫れや痛みは、からだが傷ついたときに細胞が放出する「痛みのもと（プロスタグランジンとよばれる物質）」によって起こります。「痛みのもと」は、細胞の中にあるシクロオキシゲナーゼ（COX）-2とよばれる物質によってつくられます。

セレコックス[®]は、そうした症状に使われる治療薬である、非ステロイド性消炎・鎮痛剤のひとつで、「痛みのもと」をつくるCOX-2のはたらきを抑えることで、腫れや痛みを改善します。



セレコックス®錠は、 服用上の注意に従って正しく飲みましょう。

服用する際は、以下の注意を守り、主治医の指示に従ってください。

服用上の注意

- 包装シート（PTPシート）から取り出して、
コップ1杯くらいの
水またはぬるま湯と一緒に飲みください
- 通常、朝食後と夕食後の1日2回、飲みください
- ご自分の判断で、薬の量を増減しないようにしましょう
- 痛みや腫れがおさまったときには、
薬を飲み続けるかどうか、主治医にご相談ください
- お薬を飲んでいのに、あまり効果がないときには、主治医にご相談ください

※関節リウマチ、変形性関節症などの長く続く
痛みの場合は、飲みはじめてから2～4週間
が目安です



セレコックス®錠を服用して、気になる症状があらわ

人によっては、セレコックス®錠を服用したときに、治療目的以外の望ましくない作用（副作用）があらわれることがあります。
気になる症状があらわれたら、主治医にご相談ください。

セレコックス®錠 のおもな副作用※

- 腹痛、下痢
- 口内炎
- 発 疹
- 傾 眠

※ こうした症状が100人中約1～5人の割合でみられました。



れたら…

また、セレコックス®錠を服用しているときに
次のような症状を感じたときは、
お薬を飲むのを中止して、
すぐに主治医にお伝えください。

以下の症状を感じたら、服薬をやめて主治医に連絡を

- **胸の痛み** 数分で消失する痛みの場合でも、
主治医にご相談ください
- **ろれつがまわらない**
- **体の片側または一部が麻痺する**
- **息切れ、呼吸困難**
 - 外国において、シクロオキシゲナーゼ（COX）-2を選択的に抑えるお薬などをはじめとする非ステロイド性消炎・鎮痛剤を飲むと、心臓や脳血管の病気の発症が、お薬を飲まない人に比べて多くなることが報告されています。
 - セレコックス®錠では、腫れや痛みを抑える作用ではなく、腸のポリープが再発するのを防ぐ作用を調べるための試験が外国で行なわれました。その中のひとつの試験で、日本で使用が認められている最も多い量またはそれを超える量を3年間ぐらい毎日飲み続けたときに、心筋梗塞や脳卒中などの起こる頻度が、プラセボ（偽薬）を飲んだ人と比べると高くなる、という結果が報告されました。（なお、セレコックス®錠のそれ以外の試験では、そのような報告はありませんでした。）
 - このような外国での報告から、以前に心臓や脳血管の病気になったことのある患者さんは、お薬を飲むときに注意が必要です。セレコックス®錠を飲んでいるとき、上記の症状を感じたときは、すぐに主治医にお知らせ下さい。

他にも気になる症状があらわれた場合には、主治医にご相談ください。

セレコックス®錠 についての疑問にお答えします。

Q 痛くなくなったら、
薬をやめてもよいですか？

A ご自分の判断で飲むのをやめると、症状に変化をきたす場合があります。お薬を効果的かつ安全にお使いいただくために、決められた量、服用期間を守ってお飲みいただくことが大切です。ご自分の判断で飲むのをやめず、主治医にご相談ください。

Q 長期間飲んでも大丈夫ですか？

A 消炎・鎮痛剤は、症状をやわらげるお薬で、病気そのものを治すものではありません。また、長期間飲むことで副作用が起こりやすいこともあります。症状がよくなったら、続けるかどうかを主治医にご相談されることをお勧めします。

Q 自分と同じような症状の家族や知人に、
薬をあげてもよいですか？

A 他の人にご自分のお薬をゆずるのは、絶対にやめてください。ご自身には問題がなくても、他の病気の状況、飲んでいる他のお薬の影響などで、副作用が起こりやすいこともあります。

Q 痛みがひどいので、
お薬を多くのもんでもよいですか？

A 決められた量よりたくさん飲むことで、思わぬ副作用が起こることがあります。

ご自分の判断でお薬を飲む量や回数を増やすのではなく、現在の症状を主治医にお話してください。

Q お薬を飲み忘れたので、
あとから飲んでもよいですか？

A 飲み忘れに気がいたら、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の服用時間が近い場合は、1回分とばして、次の服用時に1回分だけ飲みましょう。絶対に、2回分をまとめて1度に服用しないでください。



知っておきたい痛みと病気

～痛みが起こる原因はさまざまです～

監修：石黒 直樹（愛知県医療療育総合センター 総長）

監修者の所属・役職は2021年6月時点のものです。

かんせつ

関節リウマチ

からだの関節が炎症を起こし、変形する病気です。

原因はよく分かっていませんが、免疫の異常による全身の病気と考えられています。現在、国内に約70万人の患者さんがいます。

へんけいせいかんせつしょう

変形性関節症

老化や使いすぎなどにより、ひざなどの関節の軟骨が変性して、関節の痛みや変形をきたす病気です。わが国の患者さんは約1,000万人と推定されています。

ようつうしょう

腰痛症

老化や姿勢の悪さ、椎間板ヘルニアなどさまざまな原因によって、腰に痛みが出ます。8割以上の方が一生のうちに一度は経験するといわれています。いわゆる「ぎっくり腰」とよばれるような急に起こる激しい腰痛や、長い期間にわたって続く慢性の腰痛があります。



かたかんせつしゅういえん

肩関節周囲炎

肩の使いすぎや変性によって肩の関節に痛みが現れ、動きが悪くなる病気です。特に40～50歳代で起こりやすい、いわゆる「五十肩」はこの中に含まれます。

けいけんわんしょうこうぐん

頸肩腕症候群

首から肩・腕・手にかけて、痛み・しびれ・こりなどが繰り返し起こる病気です。手作業の多い人に起こりやすいといわれています。

けん けんしょうえん

腱・腱鞘炎

手や足などで、筋肉を骨につないでいる「腱(けん)」やその周りの部分が痛む病気です。繰り返しの作業や、激しい運動による使いすぎが主な原因といわれています。

とうつう

手術後・外傷後・抜歯後の疼痛

手術や抜歯をした後や、ケガをした時には、早く痛みを抑えることで、その後の経過が良くなります。



病・医院名